

# 群馬県議会だより

第87号

群馬県立高崎女子高等学校2年生 書道部 柿沼 珠麗さんの書道作品です。

発行●群馬県議会 編集●県議会図書広報委員会  
〒371-8570 前橋市大手町1-1-1 ☎027-226-4131 (政策広報課)



伊藤 祐司



橋爪 洋介



福重 隆浩



中島 篤



後藤 克己



角倉 邦良



高井俊一郎



松本 基志



岸 善一郎



亀山 貴史



相沢 崇文



井田 泰彦



八木田 恭之



穂積 昌信



薬丸 潔



あべともよ



今泉 健司



矢野 英司



秋山健太郎



森 昌彦



川野 達也



久保田 順一郎



井田 泉



佐波 泉



星野 寛



入内島道隆



萩原 涉



牛木 義



甘楽 義



大林 裕子

群馬県議会議員選挙区別(定数50名 現員48名 令和2年12月15日現在)

群馬県のマスコット  
「ぐんまちゃん」



2021

本年も県民の皆さまの  
ために頑張ります

あけまして  
おめでとう  
ございます



酒井 宏明



水野 俊雄



狩野 浩志



中沢 丈一



本郷 高明



小川 晶



安孫子 哲



加賀谷富士子



大和 勲



井下 泰伸



多田 善洋



泉沢 信哉



斎藤 優



金子 渡



星名 建市



金井 康夫



伊藤 清



岩井 均



金沢 充隆



神田 和生



伊藤 清



岩井 均



金沢 充隆



神田 和生



新年のごあいさつ  
群馬県議会議長  
荻原 涉

明けましておめでとうございます。  
令和3年の新春を迎えるに当たり、県民の皆さまに、県議会を代表して、謹んで年頭のごあいさつを申し上げます。  
昨年は、新型コロナウイルス感染症が世界的に大流行し、国内においても緊急事態宣言が発令されるなど、予断を許さない状況が続きました。

本県においても感染症の拡大とともに、県民の生活・文化・経済に大きな影響が出ましたが、徐々に「新しい生活様式」が定着し、医療・検査体制も整備されるなど、「ウィズコロナの体制」が整ってまいりました。  
県議会におきましても、このような状況を鑑み、オンラインを活用した委員会の試行など、ICT化への取組を進めているところです。  
他にも、県議会では、「県民に開かれた議会」「県民の意思が反映される議会」を基本理念とする議会基本条例に基づき、積極的な活動を行っております。  
特に昨年は、議会改革の推進に向け、地方議会改革状況の調査で高い評価を得た桐生市議会のほか、市議会と町村議会の両議長会長との間で意見交換会を行い、互いの取組について理解を深めるとともに、議員の資質向上や議会活動の発信などについて意見

を交わしました。  
また、若い世代に政治への関心を高めてもらうため、大学生が議会傍聴と議員との意見交換を行う事業や、議員が高校を訪問し、高校生と意見交換を行う事業を実施してまいりました。若者に少しでも政治への関心を高めてもらえればと願いつつ、取り組んでいるところです。  
新たな年を迎え、県議会といたしましても、コロナに打ち勝ち、県民の生活・文化・経済を守り、さらなる議会改革と議会の活性化に努めるとともに、近年全国各地で頻発する地震や台風による大規模災害に備える防災・減災対策等に全力で取り組み、県民の皆さまの安全・安心な暮らしを守り、活力ある群馬県の実現に努めてまいります。  
結びに、皆さま方のますますの御健勝と御活躍を心から祈念申し上げまして、あいさつといたします。

# 質疑及び一般質問

令和2年11月30日、12月1日、3日に開催された質疑及び一般質問では、次の議員が質問を行いました。

質疑及び一般質問の映像はこちら



○質疑及び一般質問の中から一部を掲載します。

## 11月30日(月)



◎令和3年度当初予算の編成スケジュールについて

自由民主党 星名 建市

**Q** 令和3年度当初予算の編成スケジュールについて伺います。

**A** 2月中旬までに予算案を決定・公表することを目指して、編成作業を進めています。コロナの影響により税収減が見込まれる中で、さまざまなコロナ対策を講じていかなければならず、例年にない難しい予算編成になります。県税収入や国の予算、地方財政措置などをギリギリまで見極めつつ、限られた財源を真に必要な予算に重点的に配分できるよう、しっかりと議論を行いながら、予算編成を進めていきます。



◎同性パートナーシップ制度について

リベラル群馬 加賀谷 富士子

**Q** 同性パートナーシップ制度の導入を決定した経緯と知事の思いについて伺います。

**A** 現在策定中の新・総合計画では、「年齢や性別、国籍、障害の有無等にかかわらず、全ての県民が、誰一人取り残されることなく、自ら思い描く人生を生き、幸福を実感できる自立分散型社会」を目指す姿として掲げています。実現に向けた取組の一環として、「ぐんまパートナーシップ宣誓制度」を新たに導入することとしました。県民の理解や関心が一層進むことと、性的マイノリティの皆さまにとって、「自ら思い描く人生を生きる」、その一助になればと考えています。



◎次期県土整備プランについて

自由民主党 大和 勲

**Q** 次期県土整備プラン策定の狙いと、最重点政策について伺います。

**A** 頻発化・激甚化する気象災害の新たな脅威にしっかりと対応するため、県土整備プランを見直すこととし、「災害レジリエンスNo.1の実現」を最重点政策に位置付けました。特に水害対策は、利根川などの河川改修や「逃げ遅れゼロ」に向けた取組の強化などを、厳しい財政状況の中、限られた予算で最大限の効果が得られるよう工夫しながら、今後5年間で、緊急かつ重点的に推進したいと考えています。



氾濫した河川の堤防かさ上げ



◎コロナ禍における経済対策について

令明 あべ ともよ

**Q** これまでよりも大きな新型コロナ流行の波がやってくることも懸念されます。県内経済の見通しと、県独自の対策を行うにも財源が不足している中、国との連携がますます重要であると考えますが、県の考えについて伺います。

**A** 感染症収束のめどが立たない中で経済情勢を見通すことは困難ですが、事業者の置かれた状況は厳しく、事業の継続や雇用への影響が懸念されます。感染拡大防止と社会経済活動の両立を図ることが、国・県共通のスタンスです。今後とも国としっかり連携し、この難局を乗り切っていきます。

## 12月1日(火)



◎サービスステーション事業の継続の必要性について

自由民主党 穂積 昌信

**Q** 在宅の障がい者やその家族等のため、一時預かりなどを行うサービスステーション事業は継続すべきと考えますが、いかがでしょうか。

**A** 法律の整備などにより、事業の創設時とは障害児者を取り巻く環境が変わってきたことや、市町村との役割分担を踏まえ、事業を実施する市町村への補助のあり方について見直しが必要と考えています。必要な方に必要なサービスが提供できるよう、引き続き市町村と十分に協議を行いながら、丁寧に検討してまいります。



◎行政手続きの見直しについて

公明党 水野 俊雄

**Q** 多様性を尊重する立場から、行政への各種申請書における性別欄についても見直しが必要と考えますが、県の考えを伺います。

**A** 性的マイノリティの方々の心情に配慮し、社会全体の理解を深めるためにも、性別欄の見直しを進める必要があると考えています。まずは各種申請書の実態を把握し、業務上、性別情報が必要な合理的な理由がある場合を除いて、性別欄の廃止も含めて見直しを検討したいと考えています。



◎県立病院の役割と改革に当たっての考え方について

自由民主党 井田 泉

**Q** 本県医療において重要な機能を担っている県立病院の役割と経営状況についての知事の認識と、改革に当たっての考え方について伺います。

**A** 県立4病院は、採算性等から他の医療機関による提供が困難な医療を担っています。経営面では病院事業全体の黒字化は達成できていませんが、県立病院としての使命を果たすことと、収益を出せる構造にするためのバランスを取りながら改革を進め、県民の誇りとなる病院を目指していきたいと考えています。



小児医療センターのMRI



◎公的機関におけるコロナ対策について

自由民主党 秋山 健太郎

**Q** 複数の警察署内で同時多発的に感染者が発生した場合の対策について伺います。

**A** 多数の自宅待機者や罹患者が出た場合に備え、業務継続計画やバックアップ計画を策定しています。今後も職員の感染防止対策を徹底するとともに、複数の警察署内で同時多発的に感染者が発生した場合などにおいても、県警察の総力を結集し、組織一丸となつて、業務継続体制を確保し、県内の治安維持に支障がないよう万全を期してまいります。

## 12月3日(木)



◎多野郡、藤岡市を流れる清流神流川について

自由民主党 神田 和生

**Q** 令和元年台風第19号の影響により、神流川の水が長期にわたり濁っていますが、解消に向けた取組について伺います。

**A** 藤岡市・神流町・上野村の各市町村と漁業協同組合、国土交通省と林野庁の各出先機関と県で構成される勉強会を令和2年8月に設置しました。台風第19号で砂防堰堤や河川内に堆積した大量の土砂が降雨で増水した際に流れ出しているのではないかとこの意見もあり、濁りの状況を継続して調査し、今後の対応を検討してまいります。



神流川



◎渋滞対策について

リベラル群馬 八木田 恭之

**Q** 主要渋滞箇所に対するこれまでの取組状況と次期県土整備プランにおける渋滞対策の位置付けについて伺います。

**A** 主要渋滞箇所のうち、県が管理する道路273カ所については、令和元年度末までに78カ所の対策が完了しています。残る箇所の解消についても、新たな県土整備プランの施策「自動車交通網の整備」に位置付け、交差点改良やバイパス整備などにより、令和11年度末までに134カ所の対策を完了させることを目標とし、渋滞対策に取り組んでまいります。



◎男性の育休について

自由民主党 亀山 貴史

**Q** 男性が育児休業を取得しやすい環境づくりに向けた企業による取組が急務であると思いますが、当該取組に対する県の支援について伺います。

**A** 企業における育児休業取得に向けた理解を深め、取得を進める取組として、経営者等の理解や意識改革を目指した「イクボス養成塾」や両立支援等を推進する企業を認証する「いきいきGカンパニー認証制度」を実施しています。また、働きやすい職場環境づくりの助言を行う「働き方改革アドバイザー」の認定など、働き方改革の推進についても取り組んでいます。



◎各種手続きのオンライン化について

自由民主党 久保田 順一郎

**Q** 「行政のオンライン化」には、通信環境と個人確認が必要ですが、そのインフラとなる5Gとマイナンバーカードの今後の展望について伺います。

**A** マイナンバーカードについては、国の取組が進展し、個人認証手段として活用されることで普及し、各種手続きのオンライン化のみならず、活用場面が広がっていくと考えています。5Gについては、「新たな社会インフラ」と期待されており、自動運転や遠隔医療など、新たな価値の創出と社会課題の解決に有効な基盤となると考えています。

## 積極的な委員会活動を行っています。

特別委員会は、県政の特に重要な特定事件を審査するために設置し、議会としての意見・提案をまとめます。担当する所管事項について、審議の参考とするため、現場に出向く調査活動のほか、集中的な審議も行っています。

委員会の活動状況  
についてはこちら



### 総合計画に関する特別委員会

委員長：中沢丈一、副委員長：井下泰伸  
委員：橋爪洋介、星名建市、水野俊雄、あべともよ、小川晶、伊藤清、松本基志、入内島道隆、相沢崇文、神田和生

#### ○群馬産業技術センターでの調査

令和2年11月6日（金）  
県の次期総合計画ビジョン案では、「群馬の土壌と融合したデジタル化」を掲げ、行政・産業のデジタルトランスフォーメーションを集中的に推進するとしています。  
そこで、県の次期総合計画策定の審査の参考とするため、株式会社NTTドコモによる5Gの取組と群馬産業技術センターの「ローカル5G」の取組状況について調査を行いました。



群馬産業技術センターでの調査

#### ○集中審議を行いました

令和2年11月6日（金）、10日（火）、11日（水）  
次期総合計画策定の審査を行うため、各部局別に3日間にわたる集中審議を行いました。

### 行財政改革特別委員会

委員長：岩井均、副委員長：金井康夫  
委員：狩野浩志、後藤克己、臂泰雄、酒井宏明、穂積昌信、井田泰彦、多田善洋、矢野英司、亀山貴史

#### ○「県有施設のあり方見直し委員会」が見直し対象とした県有10施設での調査

令和2年10月19日（月）、23日（金）、27日（火）  
県が設置した「県有施設のあり方見直し委員会」が、見直しの方向性を示した中間報告を行ったことを受けて、県有施設のあり方の見直し及び管理運営の効率化に関する観点から、ベイシア文化ホール（群馬県民会館）や群馬県ライフル射撃場など見直し対象の10施設について調査を実施しました。



群馬県民会館での調査

#### ○集中審議を行いました

令和2年11月13日（金）、12月2日（水）  
県有施設のあり方及び見直しについて提言を行うため、2日間の集中審議を行い、調査結果の取りまとめや参考人から意見を伺いました。

#### ○「県有施設のあり方見直し中間報告」に関する決議案を提出しました

調査や集中審議の結果を踏まえ、決議案を提出し、12月15日の本会議で全会一致で可決されました。



決議は  
こちら

### 危機管理対策特別委員会

委員長：星野寛、副委員長：今泉健司  
委員：福重隆浩、伊藤祐司、角倉邦良、井田泉、大和勲、川野辺達也、本郷高明、高井俊一郎、金沢充隆、牛木義

#### ○令和元年台風第19号災害復旧現場での調査

令和2年10月27日（火）  
令和元年台風第19号により本県は甚大な災害を受け、現在、災害復旧工事に取り組んでいるところです。県土整備部における災害復旧工事は450カ所所で約187億円となっており、9月末時点での発注状況は進捗率86.2%となっています。  
そこで、災害に強い県土を築く防災・減災対策のため、富岡市、藤岡市、甘楽郡甘楽町かぶらウォーターランド跡地前での調査を行いました。



かぶらウォーターランド跡地前での調査

### 外国人との共生・共創に関する特別委員会

委員長：久保田順一郎、副委員長：安孫子哲  
委員：中島篤、金子渡、薬丸潔、加賀谷富士子、泉沢信哉、斉藤優、大林裕子、森昌彦、八木田恭之、秋山健太郎

県内には多くの外国籍の方が暮らしています。

本県が全国に先駆けた多文化共生の先進モデルとなるよう、外国人労働者への対応に関すること、外国人住民の生活支援に関すること、外国人材の活躍推進に関すること、外国人児童生徒の教育に関することについて審査を行っています。

また、県が今年度中の策定を目指している「群馬県多文化共生・共創推進条例(仮称)」についても、審査を行っています。



委員会審議の様子

## 若者の政治への関心を高める取組

## GACHI高校生×県議会議員 ～政治を知らなきゃソンをする!～を開催



意見交換の様子



生徒の質問に答える議員

11月2日、議長と3人の議員が共愛学園高等学校を訪問し、44人の生徒と意見交換等を行いました。  
議員が政治や選挙の仕組みをクイズを交えて分かりやすく解説した後、生徒からの質問に丁寧に答えました。  
今年度は、同校をはじめ12校の参加を得て実施する予定です。

### 参加者の感想



共愛学園高等学校3年  
小倉有美子さん(右から2人目)

これまで政治に触れる機会がなかったので、疑問に思っていたことをいろいろ聞くことができました。議員の皆さんは、生徒が提案した意見も真剣に受け止めてくれて、うれしかったです。

### 参加議員の感想



群馬県議会 萩原渉議長

多くの高校生の意見を聴ける貴重な機会だと思っています。高校生がどのようなことを政治の世界に求めているのかを、これからの政策に生かしてまいります。

## 第3回前期定例会(決算審査)のあらまし

◇10月13日以降の前期定例会(決算審査)について、お知らせします。  
 決算特別委員会(10月12日設置)では、10月15日及び16日に分科会ごとに現地調査や審査が行われました。また、10月26日には各分科会主査から報告を受けた後、総括質疑を行いました。  
 10月29日の本会議では、決算特別委員会の審査結果について委員長から報告が行われた後、討論と採決が行われ、**決算に関する6議案は全て可決・認定**されました。

## 第3回後期定例会のあらまし

◇第3回後期定例会は11月25日から12月15日までの21日間にわたって開催されました。

### 【議案】

11月25日には、知事から、新型コロナウイルス感染症対策として**90億8,523万円**を増額する一般会計補正予算案や群馬県インターネット上の誹謗中傷等の被害者支援等に関する条例、新・群馬県総合計画(ビジョン)の策定に係る議案など、**計22議案**が提出されました。

また、12月15日には、新型コロナウイルス感染症対策として、飲食店の営業時間短縮要請協力金など**14億7,637万円**を増額する一般会計補正予算案が提出されました。

議会からは、委員会提出議案として、条例案1件、意見書案1件、決議案1件、賀詞2件の**計5議案**が発議されました。

### 【質疑及び一般質問】

**12人の議員**による質疑及び一般質問のほか、12月15日には、一般会計補正予算案について**4人の議員**が質疑を行いました。

### 【常任委員会・特別委員会】

各常任委員会、各特別委員会が開催され、付託議案や所管する事項などについて審査・調査しました。

### 【議決】

採決は11月25日、30日及び12月15日に行われました。  
 知事から提出された議案は、全て**可決・同意**されました。  
 また、委員会から発議された**5議案**は、いずれも**可決**されました。

### ◇可決された主な議案

- 令和2年度群馬県一般会計補正予算(第8号・第9号)  
 新型コロナウイルス感染症対策として、生活福祉資金の特例貸付や検査・医療体制の確保・充実、飲食店の営業時間短縮要請協力金の支給などを行うため増額しようとするもの。
- 群馬県インターネット上の誹謗中傷等の被害者支援等に関する条例  
 インターネット上の誹謗中傷等による被害者の支援等について定めようとするもの
- 県議会議員の議員報酬等支給条例の一部を改正する条例(議会運営委員会発議)  
 期末手当の改正を行おうとするもの

### ◇可決された意見書

- 台湾の世界保健機構(WHO)へのオブザーバー参加を求める意見書

### ◇可決された決議

- 「県有施設のあり方見直し中間報告」に関する決議

### ○賀詞(議会運営委員会発議)

**天皇陛下に差し上げる賀詞**  
 天皇陛下におかれましては 皇嗣殿下の立皇嗣の礼をあげさせられ 皇嗣となられたことを公に宣明されましたことは まことに慶賀にたえないところであります  
 ここに群馬県議会は 県民を代表して 皇室の弥栄をお祈りするとともに 謹んで慶祝の意を表します  
 令和2年11月25日 群馬県議会

**皇嗣殿下に差し上げる賀詞**  
 皇嗣殿下におかれましては 立皇嗣の礼をあげさせられましたことは まことに慶賀にたえないところであります  
 ここに群馬県議会は 県民を代表して 皇室の弥栄をお祈りするとともに 謹んで慶祝の意を表します  
 令和2年11月25日 群馬県議会

## トピックス

### ◎全員協議会を開催しました



全員協議会の様子

新型コロナウイルス感染症に係る県の対応状況について、議員間の情報共有を図るため、12月15日に全員協議会を開催し、県執行部に説明を求め、質疑を行いました。

※全員協議会は、地方自治法の定めにより設置された、議員全体の協議及び調整の場です。

## 議員異動のお知らせ

R2.12.15現在

臂 泰雄 議員 自由民主党 → 辞職 (令和2年10月29日付)

公職選挙法により、議員が、選挙区内の人や団体に対し、年賀状等のあいさつ状(答礼のための自筆によるものは除く。)を出すことは禁止されています。

県議会では、**弔電**を自粛する申し合わせを行っています。

◎県議会だよりはスマートフォン等でご覧になれます。



◎過去の県議会だよりはこちらからご覧ください。



◎「県議会だより」は年4回発行しています。  
 次号は、令和3年4月4日(日)発行予定です。  
 ◎「県議会だより」についてのご意見を政策広報課までお寄せください。  
 ☎027-897-2891 FAX027-243-4211 ✉giseisaku@pref.gunma.lg.jp

## 令和3年第1回定例会のご案内

会期は2月17日から3月19日の予定です。  
 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、議場での傍聴はご遠慮いただき、テレビやインターネットによる中継をご覧ください。



### ◎本会議・委員会開催日程

月 日	曜日	議事予定	月 日	曜日	議事予定
2月17日	水	本会議 (開会・提案説明)	3月9日	火	本会議 (委員長報告・議決(2年度関係))
24日	水	本会議 (党(会)派代表による 質疑及び一般質問)	11日	木	常任委員会 (3年度関係)
25日	木	本会議 (質疑及び一般質問)	12日	金	
3月1日	月		本会議 (質疑及び一般質問)	16日	火
2日	火	常任委員会 (2年度関係)		19日	金
4日	木				

(開会はおおむね午前10時からです。)

※会期は予定ですので、変更される場合もあります。

### ◎県議会中継

#### テレビ

★群馬テレビ 午前10時～ <生中継>

本会議(質疑及び一般質問)をご覧ください。

スマートフォンや  
タブレットはこちらから。

#### インターネット

★県議会ホームページ「議会中継」 <生中継><録画>

本会議の全日程をご覧ください。



## 県議会ホームページ

群馬県議会

検索

県議会の最新情報は公式SNSでも発信しています。

